

## 経営理念

より安全で快適な社会作りに全力で貢献する  
技術を磨き、誠実にものづくりを行う  
全社員が相互に物心両面での幸せを追求する





# To Our Shareholders 株主の皆さまへ



株主の皆さまには、平素より格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。  
当事業年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行により社会経済活動の正常化が進む一方、物価上昇や人件費・物流コストの増加、世界的な金融引締めの影響など先行き不透明な状況で推移しました。

当社の属する建設業界では、政府による防災・減災、国土強靱化のための加速化対策等による堅調な公共投資の継続や、カーボンニュートラル実現に向けた民間企業による設備投資の増加など受注環境は底堅く推移しています。一方で建設資材価格の高止まりや技能労働者不足、人件費上昇に伴う建設コストの増加など厳しい経営環境が続いています。

このような経営環境のなか、当社では人員不足などの社会問題の解決につながるオリジナルの開発製品を世に送り出し続けるとともに、脱炭素社会の実現に向け製造する全ての製品を低炭素配合に切り替える準備を進めています。また、お客様の声を基に開発を進めるアプリケーションは、当社の工場と建設現場を繋ぐ新たなツールとして、更なる利便性の向上を目指してブラッシュアップを行っています。

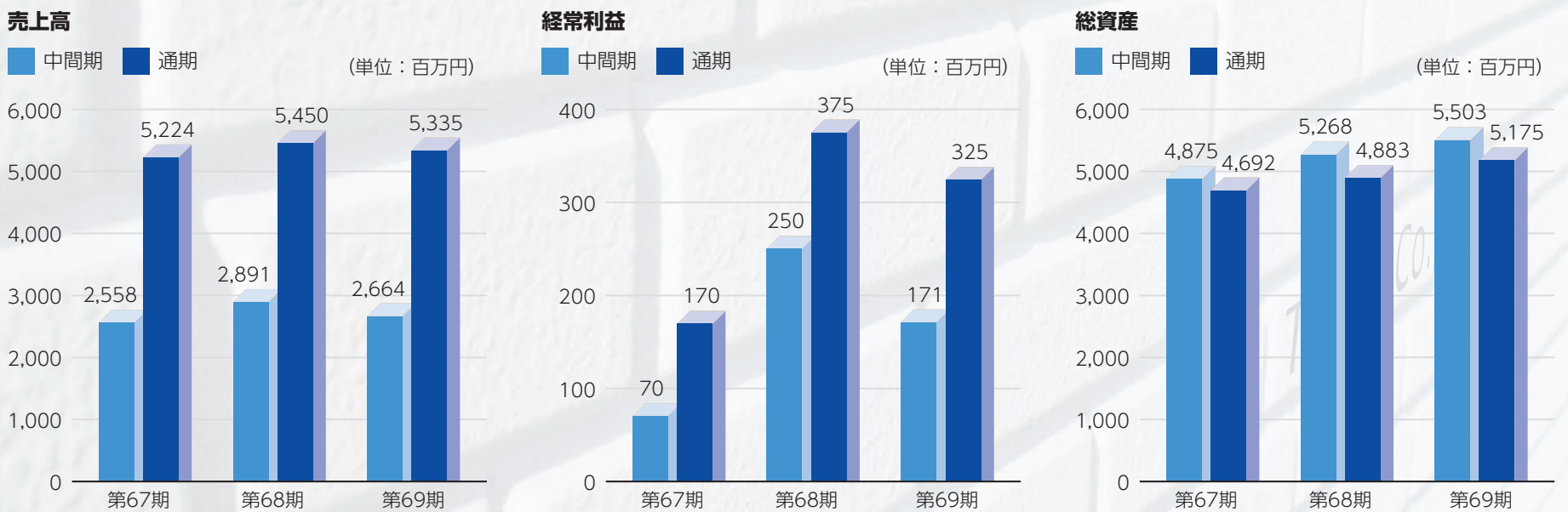
この結果、当社の業績は売上高53億3千5百万円（前年同期比2.1%減）となりました。利益面では営業利益3億1千3百万円（前年同期比2.3%減）、経常利益3億2千5百万円（前年同期比13.2%減）、当期純利益は2億1千5百万円（前年同期比11.5%減）となりました。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも格別のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

2024年9月

株式会社武井工業所  
代表取締役 武井 厚

## 第69期財務ハイライト



## 貸借対照表

(単位：千円)

科目	第68期 2023年6月30日	第69期 2024年6月30日
流動資産	2,364,245	2,331,420
固定資産	2,519,357	2,844,446
資産合計	4,883,602	5,175,866
流動負債	1,935,360	1,923,355
固定負債	683,723	780,891
負債合計	2,619,083	2,704,247
純資産合計	2,264,519	2,471,619
負債・純資産合計	4,883,602	5,175,866

## Point

## 当期のポイント

建設業界の環境は、建設従事者の高齢化による深刻な人員不足や働き方改革関連法の実施に伴う作業工程の見直し等により、引き続き建設コスト高騰が懸念されています。また、運送業でも今年度より同関連法が施工され、輸送コストの上昇も見込まれるなど、引き続き注視が必要な状況となっています。

そのようななか、公共事業は、減災・防災等を目的とした投資は一定数見込まれるものの、全体的な発注量は減少しています。民間工事においては茨城県南地区を中心とした物流倉庫、工場・商業施設、宅地造成工事等の開発工事の増加により、当社オリジナル製品のフリードレーンやシキールなどの需要が高まり、前年並みの売り上げを確保することができました。

今後も、高騰し続ける原材料費を販売原価に反映する取り組みを行い、お客様のご理解とご協力を得ながら価格の適正化に努めてまいります。また、建設現場の省力化につながる、新製品の開発や既存製品の改良、社内ソフトの更新によるオペレーションの整備など、他社との差別化を図り、お客様の更なる利便性の向上に努めてまいります。



# トピックス

## 製品

### フリードレン使用路線が次々と工事完了！



栃木県栃木土木事務所が進めてきました幹線道路2路線が令和5年度末に工事完了しました。

一つは、令和2年度から「渋滞対策」として整備が進められてきました、一般県道大戦防小山線小山市城南地区です。

事業区間の1.5kmは商業施設が並び、休日を中心に交通渋滞が発生していました。本事業では、店舗への右折待ちができるよう右折緩衝帯（ゼブラゾーン）と自転車専用通行帯が設置されました。

この自転車専用通行帯と歩道との間に側溝及び境界ブロックを設ける構造となっており、ここにフリードレン都市型Nを採用していただきました。

フリードレン都市型Nは施工後に道路表面に現れるエプロン部が90mmと狭く、自転車専用通行帯には最適な製品です。

また、従来のグレーチングのみが表面に現れる側溝に比べて価格を半分に抑えられコストパフォーマンスに優れています。

もう一つは一般県道小山下野線喜沢工区です。

小山下野線は小山市と下野市を結ぶ幹線道路で、当該箇所の整備は、一般国道50号から三次救急医療機関である自治医大附属病院へのアクセス性向上、安全で信頼性の高い道路ネットワークの確保を目的として、平成26年度からバイパス事業に着手し、整備が進められてきました。

約3.0kmのバイパスの内、残されていた喜沢工区の約1.0kmが供用開始されました。このバイパスでは全路線フリードレン都市型が採用されています。

当社の主力製品であるフリードレンは販売開始から25年目を迎え、ラインナップを増やし、今も尚ご好評いただいています。

今後も、潜在的なニーズを捉え、新製品の開発や、既存製品の改良による施工者の作業省力化に寄与する製品開発を続け、社会に貢献してまいります。

## インフラ長寿命化事業

今回ご紹介するのは新技術「ドローン」を活用した橋梁点検技術です。

現在、全国には約72万橋の橋梁が存在し、その内約45万橋は自治体が管理しています。しかし、技術不足・人材不足などにより点検・補修が十分にできていないという課題があります。

そこで、ドローンを使用する橋梁点検技術が注目されています。

従来は、橋梁点検車を使用する必要があった場合でも、ドローンを利用することで、作業員の安全な作業環境を確保することができ、点検時の交通規制が不要となる為、誘導員等の人員の削減につながるなど様々なメリットが生まれます。

また、ドローンを使用することで、広範囲を均一に撮影することで、作業効率が向上するとともに安定した点検結果を得ることができます。

ドローンでの橋梁点検は始めて間もない技術であり解決が必要な課題も多くありますが、技術を有効活用することで、点検の精度を上げ、皆さまにより安全に橋梁を利用してもらえるよう点検業務を実施していきます。

当社では、今後も新技術を積極的に取り組むことで、技術向上を図り、より安全な社会づくりに全力で貢献してまいります。



## 脱炭素社会実現に向けて

### 各工場に環境負荷低減の一翼を担う製造設備の導入を進めています！



創業100周年目となる2039年をカーボンニュートラル達成目標として掲げ、歩み始めた当社の取り組みの一つとして、工場設備の環境負荷低減を可能とする設備導入を進めています。

工場の重要設備の一つである「ボイラ」は、コンクリート製品製造に欠かせない設備です。ボイラで作られる蒸気は、コンクリートの初期強度発現を助け、安定した品質の維持を可能とします。これまで当社で使用してきたボイラは、燃料に石油の一種である重油を使用していましたが、新しく導入しているボイラはLPガスを燃料としています。液体燃料と比較して、気体燃料は空気と混じりやすく、燃焼効率が高くなります。これにより、約40%のCO<sub>2</sub>削減が可能となります。

また、照明については、LED照明への変更を進めています。LED照明は、従来の水銀灯や蛍光灯と比較して消費電力が平均約70%削減できます。さらに照度も高いため、職場が明るくなり、CO<sub>2</sub>削減だけでなく、働きやすい職場環境の確保にもつながっています。

その他の設備では、工場稼働に欠かせないフォークリフトも、エンジン式からバッテリー式へ入れ替えることで、約39%のCO<sub>2</sub>削減が可能となり、排気ガスも排出しないため、クリーンな空気を実現します。

これからも、より環境と働く人にも優しい設備導入を進め、脱炭素社会実現に向けて、企業としての社会的な責任を果たしてまいります。

## 当社のコミットメントロゴのご紹介

名峰筑波山の水系が流れ込む霞ヶ浦にて伝統漁法を現代に伝える帆引き舟をあしらった当社の“コミットメントロゴ”には、多くの種類の魚や水生植物を育み、冬には渡り鳥が飛来するなど豊かな自然に恵まれた霞ヶ浦の自然を守り、後世に受け渡す決意を込めました。





## インド進出の進捗状況



当社インド事業の拠点であるオーランガードは雨季を迎えています。

湿度が90%を超えますが、気温は低く過ごしやすい季節です。

工場では、社員と契約社員を合わせ約300人が朝7時から24時までの2シフト制により製造を行っています。製造実績は、前年度平均と比較し3割弱の増加となりました。

月を追うごとに高まる要求に対し、作業員の増員と共に作業手順や方法等の見直しを行い、生産効率の向上を図っています。

現在の重量比における製造品目構成は、土留め用のL型擁壁（高さ2.5～9m）が全製品の3割を占め、高速鉄道用の遮音壁が2割、そして残り5割がボックスカルバートや側溝・蓋等の水路関係製品となっています。

今年度は、8～9万トンの製造を目指しています。インド人スタッフと日本人技術者が力を合わせ知恵を出し合い、安全な作業を第一に考え、お客様にご満足いただける製品の提供と製造目標達成に向けて邁進してまいります。

今後とも当社のインド事業にご期待ください。

## おかげさまで創業85周年を迎えました！

当社は、1939年7月に創業して以来、2024年7月で85周年という節目を迎える事が出来ました。

これもひとえに武井工業所を支えてくださった株主の皆さま、お客様をはじめとするステークホルダーの皆さまのご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

私たち武井工業所は現状に満足することなく創業100周年を目指し、温室効果ガス削減によるカーボンニュートラルの実現や、企業活動を通じた地域社会への貢献をさらに加速させ、持続可能な社会作りへ寄与してまいります。



創業85周年を迎え、記念のロゴデザインを作成しました。

このロゴは、当社の主力オリジナル製品の一つ「フリードレンVII」の表面模様をモチーフにデザインしています。

フリードレンVIIは景観性・集水性・排水性に優れており、全ての人が安心して通行できるように配慮したユニバーサルデザインを採用しています。

武井工業所はこれからも時代のニーズに対応した新製品開発に取り組み、当社の製品に関わる皆様に安全・快適を提供していこうという想いをこのデザインに込めています。

## 本社外構のリニューアルを行いました。



今回行われたソーラーカーポート設置工事に合わせ、当社オリジナル製品による本社外構のリニューアル工事を行いました。

使用した製品は「シキール」及び「セパロック」。どちらの製品も施工性の良さから使用するお客様に高い評価を得ている製品です。

今回施工をお願いした業者様からも「設置場所の掘削や転圧は慎重に行う必要があるが、その後は製品を並べるだけですぐに設置できる。従来の工法とは比べ物にならないほど短い時間で簡単・綺麗に仕上がる製品」と高い評価を頂きました。

## SNSにて情報を発信しています。

当社ではSNSを使った情報発信を行っています。

各部署から選ばれた若手社員が、様々な目線から当社の活動について発信をしています。

武井工業所の“今”がわかる内容となっていますので、この機会にぜひご確認・フォローをお願いします。

<p>ホームページ</p>	<p>Facebook</p>
<p>X (旧Twitter)</p>	<p>インスタグラム</p>

## 会社概要 [2024年6月30日現在]

商号	株式会社武井工業所
創業	1939年7月
設立	1956年4月
資本金	100,000,000円
発行可能株式総数	12,000,000株
発行済株式の総数	3,542,000株
事業所等	
本社	茨城県石岡市若松一丁目3番26号
工場	明野工場（茨城県筑西市） 小川工場（茨城県小美玉市） 岩瀬工場（茨城県桜川市） 栃木工場（栃木県下野市）
営業所	東関東営業部水戸営業課（本社内） 東関東営業部つくば営業課（本社内） 東関東営業部鹿行営業課（茨城県鹿嶋市） 西関東営業部西関東営業課（栃木県下野市）
従業員数	203名（男 186名、女 17名）

## 株主メモ

事業年度	7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会	毎年9月開催
基準日	1. 毎年6月30日 2. 中間配当を実施する場合は12月31日 3. そのほか、必要あるときはあらかじめ公告して定めた日
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同郵送先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
公告の方法	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711（通話料無料） 電子公告（やむを得ない事由がある場合は日本経済新聞に掲載して行います） URL <a href="https://www.takei21.co.jp/">https://www.takei21.co.jp/</a>



見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。